

令和 7 年 第 1 回 平内町議会定例会

一 般 質 問 予 告 表

質問順位	議席番号	質 問 者	表 題
1	4	田 中 大	1 全町総合防災訓練の実施について 2 町道支障木の安全対策について
2	2	荒 内 護	1 閉校となった校舎とグラウンドの活用について 2 町のスポーツ施設である野球場と陸上競技場の活用について 3 防災危機管理課の設置について
3	1	船 橋 侑 雅	1 ふるさと納税に関する町の状況と今後の方針について 2 自治体D Xに対する当町の取り組みについて
4	1 0	田 中 光 弘	1 平内町過疎地域持続的発展計画について 2 行政手続き出張サービスについて 3 克雪について
5	6	田 中 茂 勝	1 移住定住促進の取り組みについて 2 健康増進について
6	5	亀 田 弘 徳	1 町が行っている移住定住促進施策について 2 新たに追加された土砂災害危険個所について
7	7	太 田 満 則	1 ホタテガイへい死対策について 2 除排雪について

一般質問の通告書

(一括 ・ 一問一答)

(受付No. /)

(発言順 /)

	表 題	具 体 的 内 容
質 問 の 要 旨	全町総合防災訓練の実施について	我が国では、毎年のように様々な自然災害が発生しております。気候変動の影響も相まって、今後は更に自然災害の発生リスクが高まることが予想されております。 災害による被害を軽減するためには、町民一人一人が日常的な備えを強化し、防災訓練などの取組に積極的に参加することが求められます。 幸い当町では、近年大規模な災害は発生しておりませんが、専門家からは津波を伴う地震が発生した場合、10分以内に津波が到達する可能性が指摘されております。 当町での大規模防災訓練は、平成25年6月25日に実施された茂浦地区津波災害防災訓練が最後となっており、すでに12年経過しております。大規模災害を自分事として町民一人一人に再認識していただくため、全町総合防災訓練を実施すべきだと考えますが、町長のお考えを具体的にお示し願います。
	町道支障木の安全対策について	樹木の枝や生け垣が町道に張り出し、通行を妨げる事例が見受けられるほか、枝の落下による危険が生じ、多くの町民から対応を求める声が寄せられております。 民法の改正により、越境した枝に対する対応が迅速に進められる道筋が示されたことで、町民の安全を守る町としての責務を果たすことが可能となりました。 今後の対応方針についてお示してください。

会議規則第61条第2項により通告いたします。

令和7年2月/2日

議席番号 4番

氏 名 田 中 大

平内町議会議長 船 橋 健 人 殿



13:34

一般質問の通告書

(一括 ・ 一問一答)

(受付 No. 2)

(発言順 2)

	表 題	具 体 的 内 容
質 問 の 要 旨	1 閉校となった 校舎とグラウンド の活用について	旧小湊中学校のグラウンドがいつもきれいに整備されている。 野球関係者の話によると、ある団体が整備し、使用している のことであるが、どこで使用しているのか。また、使用条件は どうなっているのか。そして、旧西平内中学校と旧東平内中学 校も希望があった場合、使用許可は出るのか。お答えくださ い。
	2 町のスポーツ 施設である野球 場と陸上競技場 の活用について	町では、いつでも使えるようにと、きれいに整備しています があまり使われていないように思う。せっかくきれいに整備し ているのだから、もっと有効活用させる方法を考えていくべき だと思う。 例えば、野球場だったらむき出しになっているコンクリート 部分にクッション性のカバーを被せる。三塁側と一塁側の両方 からトイレが使えるようにバックネット付近に設置するなど安 全性と利便性を備えた球場にすることによって、各種大会や試 合又は練習場として希望する団体が増えると思う。陸上競技場 においては、トラックの内側をサッカーのクラブチームが使用 している。しかしながら使用頻度が少なく空いている日が多い ように思う。今後は練習用の道具などの保管場所として、建物 の一部を部室として開放するなどの利便性を加えることにより、 ラグビーや他の団体の利用希望が増えると思う。 この二つの運動施設の活用方法として町ではどのようにお考 えかお聞かせください。

会議規則第61条第2項により通告いたします。

令和7年2月17日

議席番号 2 番

氏 名 荒 内 護

平内町議会議長 船 橋 健 人 殿

《 続 き 》

令和7年第1回平内町議会定例会

	表 題	具 体 的 内 容
質 問 の 要 旨	3 防災危機管理 課の設置につい て	平内町地域防災計画は災害対策基本法第42条の規定に基づき平内町防災会議が策定したものであり、現行の計画は平成30年9月に修正を行って以来、更新されていない。 平内町の防災計画の性格上、常に社会情勢の変化などを反映させる必要があることから、毎年検討が必要。その都度、修正するものである。と明記している。2024年11月16日には陸奥湾を震源地とする最大震度4の地震が発生した。町民は、想像もしていなかった陸奥湾の地震に驚きと不安を覚えた。 今後、社会情勢の変化への対応と防災計画をより実現化していくために、防災危機管理課の設置が必要と考えるが町の考えをお聞かせください。

一般質問の通告書

議席番号 2番 氏名 荒内 護

平内町議会議長 船 橋 健 人 殿



14:40

一般質問の通告書

(一括 ・ 一問一答)

(受付No. 3)

(発言順 3)

	表 題	具 体 的 内 容
質 問 の 要 旨	1 ふるさと納税に関する町の状況と今後の方針について	当町のふるさと納税額は2022年度が4,745万円、2023年度が6,757万円と、順調に増加しています。2024年度も増加見込みであるとのことで、町長の公約である1億円に向けて着実に近づいており、非常に期待を持っているところです。 しかしながら、当町の現状は、2022、23年度共に県内で21位であり、全国的に見ても1780自治体中1288位とまだまだ向上の余地があると感じております。 2022年度と2023年度の順位の入替わりでは、県内の上位10自治体では、1自治体のみ、全国の上位10自治体では3自治体のみにとどまりました。 このことから、ふるさと納税を利用する人はリピートする傾向にあり、一度獲得した認知は継続する傾向が強いと考えられ、新規寄付者の獲得が重要な課題といえます。そこで、以下の3点について町の見解を伺います。 2025年度の新規寄付者獲得に向けた取り組みは - 県外在住の方へ固定資産税納付書を送付する際に、ふるさと納税のパンフレットを同封してはどうか - 県外の新規イベントへの参入について 県外の新規イベントに参加することで、町の魅力をPRし、新規寄付者を獲得してはどうか。その際の財源として、ふるさと納税のうち「町全体の発展に寄与する事業」への寄付分を活用することを提案します。

会議規則第61条第2項により通告いたします。

令和7年2月19日

議席番号 1番

氏 名 船橋 侑雅

平内町議会議長 船 橋 健 人 殿

一般質問の通告書

《続き》

議席番号 1番 氏名 船橋 侑雅

	表 題	具 体 的 内 容
質 問 の 要 旨	2 自治体 DX に対する当町の取り組みについて	当町は2024年度、青森県の市町村DX加速化推進事業に採択され、県の費用負担により外部人材を活用して窓口業務改善に取り組んでいると伺いました。 全国的に人口減少が進む中、職員数を増やし続けることは難しい一方で、業務量は減るわけではありません。こうした状況の中で、今回のような取り組みを職員の日常的な業務においても推進し、必要に応じて外部人材の活用などを通し、人口が減少した将来においても十分に機能する行政を目指すと考えますが、具体的にどのような内容なのかお聞かせください。

平内町議会議長 船 橋 健 人 殿



8:17

一般質問の通告書

(一括 ・ 一問一答)

(受付No. 4)

(発言順 4)

	表 題	具 体 的 内 容
質 問 の 要 旨	1 平内町過疎地域持続的 発展計画について	2021（令和 3）年度～2025（令和 7）年度までの 5 カ年計画は、2025（令和 7）年度が最終年度である。 1 計画の変更内容を 2021（令和 3）年 9 月に策定、2023（令和 5）年 3 月に変更となっているが、変更内容を示して頂きたい。 2 特定健診受診率向上について ① 受診率の高い町内会と低い町内会の特徴を分析していると思われるが実態を伺う。 ② 達成状況の 2021, 22, 23（令和 3, 4, 5）年度の受診率が「健康なまちづくり宣言」の前年度 6 年前の 2017（平成 29）年度 41.8%と比して横ばい。この状況を鑑み受診率の低い町内会の奮起を促す観点で、町内会ごとの受診率を町広報やホームページで公表すべきと思うが、見解を伺う。 ③ 保健協力員や食生活改善推進員と共に町内会を挙げて取り組む必要がある。未受診者は固定の方々と推測されるので町内会役員に受診呼びかけの協力を要請すべき。見解を伺う。
	2 行政手続き出張サービスについて	足腰の弱い高齢者や障害者ら役場に出向くのが難しい人を対象とした、住民票等の交付の「行政出張サービス」の導入を。 ① 常時出動ではなく、デマンド（予約制）運行。しかも一人体制で行政に精通している会計年度任用職員配置であれば、業務がスムーズに運ぶと思われるが見解を伺う。 ② 各種証明書交付のほか、要望に応じて役場庁舎の各担当課がオンラインで窓口業務をサポートすることにより、一部の提供だけでなく、対象者が求める総合的なサービス可能であると思われる。見解を伺う。 ③ 当町特有の菱形線上行政区に住居している対象者にとって、寄り沿うサービス提供の「行政出張サービス」は不可欠であると強く思う。実施方について見解を伺う。

会議規則第 61 条第 2 項により通告いたします。

令和 7 年 2 月 19 日

議席番号 10 番

氏 名 田中 光弘

平内町議会議長 船 橋 健 人 殿

一般質問の通告書

《続き》

議席番号 10番 氏名 田中 光弘

	表 題	具 体 的 内 容
質 問 の 要 旨	3 克雪について	1 地域除雪体制づくりについて 高齢者世帯やひとり暮らし世帯が増加し、見守りや支援の必要な世帯も増えてきている。 特に冬期間の除雪作業は、自力で除雪困難な高齢者世帯や高齢者ひとり暮らし世帯にとっては切実な課題であり、玄関から除雪道路までの除雪、道路除雪後の塊雪の処理に数年後は困難と思われる方々が見受けられる。 町内会において地域で支援に向けた話し合いを実施し、地域ごとに除雪マニュアルを作成する。高齢者等への見守り活動を推進し、除雪チームの組織化が求められる。 現時点では町内会による自主的な除雪困難者への支援体制づくりは厳しいと思われるので、今後必ず必要となる地域除雪体制に向け、町内連合会との協議を進めるべき。見解伺う。 2 小湊地区融雪溝について 2004(平成16)年12月からの供用開始。当初は小湊地区融雪溝利用管理組合が運用し、2020(令和2)年からは小湊地区融雪溝運用連絡会が運用に当たってきたが、2023(令和5)年に解散し、実質上融雪溝機能は停止状態となった。 ① 融雪溝としての機能を果たせない構造上の問題の苦情に対し、解消に向けての対策を伺う。 ② 本町・第2元町・川原町・第1平中の4町内会長名で「組織としては解散したが、町との協議を継続したい」としているが、町の対応について伺う。

平内町議会議長 船 橋 健 人 殿



8:20

一般質問の通告書

(一括 ・ 一問一答)

(受付No. 5)

(発言順 5)

	表 題	具 体 的 内 容
質 問 の 要 旨	移住定住促進の取 り組みについて	人口減少の対策として、移住定住促進事業を展開していると思うが、これまでの実績と今後の対応について伺う。 実績としては、①これまでの移住家族数と人数 ②定住後の就職と職種 ③移住者の住宅取得状況(新築・中古) ④空き家バンクの活用状況 ⑤補助金や支援金の活用状況 ⑥条件不利地域の設定について ⑦その他の現状 今後、促進を加速するための方策について伺う。
	健康増進について	町では国民健康保険加入者を対象とし、健康診断を実施しており、相応の成果を上げております。病気を見つけることも重要ですが、病にならない体づくりも重要であると考えます。特に高齢者に於いては体力低下等により、身体能力が低下することにより普段の生活にも支障をきたすことがある。町では、町民の身体能力測定を実施したことが有るのか、また、実施すべきものとするのか見解を伺う。 毎年、ひらな秋まつりに合わせて、武道館においては、健康展を開催しているが、参加者は非常に多く、昨年は300人ほどであったと伺っている。 自分の体力年齢や、血管年齢などを知ることは、健康増進の意識醸成には有効なものであると考えます。このような事業は各地域を巡回して実施すべきであるが見解を伺う。

会議規則第 61 条第 2 項により通告いたします。

令和 7 年 2 月 19 日

議席番号 6 番

氏 名 田 中 茂 勝

平内町議会議長 船 橋 健 人 殿



10:05

一般質問の通告書

(一括 ・ 一問一答)

(受付No. 6)

(発言順 6)

	表 題	具 体 的 内 容
質 問 の 要 旨	1 町が行っている移住定住促進施策について	町の移住定住促進に関する施策について問う。 1) あおもり移住支援事業について あおもり移住支援事業は町が県と協力して行っている事業で、平内町への移住・就業で最大 100 万を支給するものだが、対象者には条件があり、移住元、移住先、仕事に関する要件のすべてが該当しなければ対象とならない。 3 条件のうち仕事に関する要件がかなりきつく見える。例えば地域おこし協力隊員として平内町に赴任する人は、うまくいけば平内町に定住してくれることになるが、この仕事に関する要件を満たせず、支援を受けられない。仕事に関する要件の再考か、代替措置の検討を図って貰いたい町を考えを伺う。 2) 地方就職学生の支援について 1. 地方就職学生支援事業は県と県内市町村が共同して、学生が東京圏から青森県への就職活動のための交通費の補助とこの交通費支援を受けた学生が実際に青森県に移住する際の移転費を補助する事業である。 ① 平内町は事業対象の市町村であるが、平内町の分の事業実施状況はどのようなになっているか。 ② 同事業についての広報周知活動はどのようなになっているか。県の HP から町の HP へリンクされているがリンク先である町の HP の詳細情報が載っていないように見える。周知方、県との連携方について町を考えを伺う。

会議規則第 6 1 条第 2 項により通告いたします。

令和 7 年 2 月 1 9 日

議席番号 5 番

氏 名 亀田 弘徳

平内町議会議長 船 橋 健 人 殿

一般質問の通告書

《続き》

議席番号 5番 氏名 亀田 弘徳

	表 題	具 体 的 内 容
質 問 の 要 旨	2. 新たに追加された土砂災害危険箇所について	2. 県が行っている奨学金返還支援制度がある。実施主体は県であるが、町として県との連携を図り、制度の周知に関し協力を行うことで町へ学生が就職で移住してくる可能性がある。県との連携方について町の考えを伺う。 3) 移住関連の体験事業と広報活動について 平内町で移住関連の体験事業を行っているが、実施後の周知活動が無いように思う。移住を考える場合、前のイベントなどがどうだったかを見るものだが、町や他と連携している体験事業の実施後の周知方について町の考えを伺う。 県は令和6年7月1日付で県内で土砂災害が発生する恐れのある場所を新たに2646カ所追加した。平内町は43カ所が追加された。青森県土砂災害警戒区域等マップで新規抽出箇所として新たに追加された箇所が確認できる。 県は警戒区の指定を進めるとのことだが、追加された43カ所の中には住居の多い区域や道路寸断の可能性の高い区域がある。 町として危険箇所の詳細を把握次第、ハザードマップの更新や住民説明会の開催を考えているとのことだが、県の公表から半年ほど経った現在の状況を伺う。

平内町議会議長 船 橋 健 人 殿



10:38

一般質問の通告書

(一括 ・ 一問一答)

(受付No. 7)

(発言順 7)

	表 題	具 体 的 内 容
質 問 の 要 旨	1, ホタテガイへい死対策について	高水温に因ると言われている「ホタテガイへい死」が続いている。ホタテガイ養殖に関わっている人たちは皆が困っている。町の大事な産業です。何か対策を考えているのか。
	2, 除排雪について	今年は例年通りの降雪となった。他の地域よりは苦情は少なかったと思うが、それでも何件かの苦情は聞く。役場にも苦情は来たと思うがその件数は。 そこで降雪量を計る場所と出動基準について伺う。

会議規則第61条第2項により通告いたします。

令和 7 年 2 月 19 日

議席番号7番

氏 名 太 田 満 則

平内町議会議長 船 橋 健 人 殿



10:41